

# 図書だより



平成31年1月15日

担当 山本 尚美

No.14

## ファミリー読書の感想です No.3

ファミリー読書についての感想、たくさんありがとうございます。今回は3年生の保護者の皆さんのコメントです。

友だちとお金で解決しようとしていたが、本当の友だちができて嬉しい気持ちになった。自分の大切な物をあげても惜しくないような友だちができてくれたらいいと思います。(ともだちやさん)

我が子のように食いしん坊のおばけだなあ。面白かったです。今度いっしょに天ぷらを作ろうね。(おばけのてんぷら)

大人とちがう子どもの自由な発想や気持ちが聞けて、いっしょに読んでいておもしろかったです。

(ぼくはりんごかもしれない)

小さい幼児に読み聞かせをすることはあっても、3年生の我が子に読み聞かせをするのは新鮮でした。島田由香さんの本は、細かいところまでストーリーができていて、何回読んでも新しい発見があるのでおもしろいです。

(バムとケロのにちようび)

2人きりで本を読むのはなかなかないので、喜んでいました。見たことがない宇宙人の話で、想像が膨らみました。

(いいからいいから⑤)

はなをほじるのもつめをかむのもごはんをたべないのも、理由があつてのことと考えるとおもしろい。いいわけじゃなくて理由だから納得しなきゃ。(笑)

(理由があります)

お正月や節分など、自分の家の行事と比べながら一緒に話をすることができました。(お正月や節分の本)

小さい頃よく読んでいた本です。何度も何度も借りて楽しんでいました。久しぶりに一緒に読みましたが、やっぱり楽しんで読みました。また次も一緒に読もうね。

(へんしんたんてい)

年長の頃、子どもが大好きで何度も読み聞かせをした本を久しぶりに手に取りました。子どもは息もできないほどの大笑い。リズムよく読めてそうべいたちが工夫を凝らして力を合わせ、地獄の難関に立ち向かう姿は、爽快です。

(じごくのそうべい)

3年の我が子の下には年長の弟がいます。来年は1年生です。バス通学や学校生活全てが初めてで3年の兄をとっても頼りにしていると思います。弟が自慢できるような兄になってほしいです。本を見ながら自覚ができたかな？

(ぼくのにいちゃん、すごいやろ)

だじゃれの本でした。2人で読んでいてクスッと笑ってしまうところがたくさんありました。貴重な時間でした。触れ合う時間をこれからも大切にしていこうと思います。

(だじゃれのほん)

色々な本を子どもたちが選んでいて感想も色々で楽しいですね。

今回は4年生です。